

協会のご案内

再商品化委託単価について(平成16年度)

●再商品化委託単価算出の考え方

平成16年度の特定事業者の「再商品化委託単価」は、「平成16年度に見込まれる支出の総額（再商品化総費用）」を「平成16年度に見込まれる申込の総量」で除して算出している。

●再商品化委託単価の計算式

$$\text{再商品化委託単価} = \frac{\text{市町村からの平成16年度の引取り見込量} \times \text{再商品化事業者見込み委託単価} + \text{協会経費}}{\text{特定事業者等からの平成16年度の再商品化委託申込見込量}}$$

<平成16年度再商品化委託単価の算出根拠>

	1 市町村からの引取り見込量 (t)	2 再商品化事業者見込み委託単価 (円/t)	3 協会経費 (千円)	4 再商品化総費用 (千円) $\div (1 \times 2) + 3$	5 特定事業者等からの再商品化委託申込見込量 (t)	平成16年度再商品化委託単価 $4 \div 5$ (円/t)
ガラスびん	無色	120,600	3,990	137,058	218,490	2,800
	茶色	140,000	4,545	137,058	161,794	4,800
	その他	107,700	6,620	137,059	106,622	8,000
PETボトル	197,160	54,142	317,288	10,992,000	229,000	48,000
プラスチック	497,760	85,752	1,054,203	43,724,306	598,963	73,000
紙	38,000	13,200	648,467	1,150,067	59,900	19,200

注1) 端数調整のため、必ずしも $(1 \times 2) + 3$ が4 と等しくならないケースがあります。また、再商品化委託単価は端数調整しております。

●再商品化委託単価の推移

(単位：円)

	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	
ガラスびん	無色	1,981	1,752	2,549	4,151	4,000	3,600	3,000	2,800
	茶色	2,518	2,936	4,407	7,682	7,700	7,800	5,700	4,800
	その他	5,491	5,485	6,340	8,096	9,100	9,100	8,600	8,000
PETボトル	101,755	101,755	95,135	88,825	83,800	75,100	64,000	48,000	
プラスチック	-	-	-	105,000	105,000	82,000	76,000	73,000	

紙	-	-	-	58,636	58,600	42,000	25,200	19,200
---	---	---	---	--------	--------	--------	--------	--------

●平成16年度の分別収集計画量、再商品化計画量、再商品化義務量との対比 (単位：千トン)

	ガラスびん			PETボトル	プラスチック	紙
	無色	茶色	その他			
分別収集計画量 ¹	442	381	203	229	629	165
再商品化計画量 ²	270	200	160	311	655	505
上記 ¹ ² のうちいずれか少ない量(再商品化義務量)	270	200	160	229	629	(※) 79
市町村からの引取見込量	120.6	140.0	107.7	197.2	497.8	38.0
特定事業者等からの再商品化委託申込見込量	218.5	161.8	106.6	229.0	599.0	59.9

※平成16年度の紙製容器包装については、分別収集計画量から、環境省が調査した市町村独自処理分(86千トン)を差し引いた量(79千トン)が再商品化義務量となります。

(平成15年12月現在)